

エイジング社会の教養科目群

科目コード	OG160	科目名	現代美術に親しむ			科目群	第1群
担当者	菊池 敏直 (キクチ トシナオ)						
開講日程・時限	秋学期・火曜日・2時限	授業方式	オンライン	単位数	2単位		
備考							
授業の目標	① 「見たもの」をもっとよく見ようとする ② 「見えないもの」も見ようと思う ③ 「美術」が近しく思えるようになる						
授業の内容	まず各々過去の「ものの見方」を振り返りましょう。次に作品を通して「美術的ものの見方」の例を幾つか挙げます。で「見ること」を考察しましょう。ワタシと美術と社会の関係性を俯瞰し、私達が見、接し、感じ、考える、生きていること、そこで抱く疑問と「表現」が結びつくように「問うこと」を反復しましょう。今日在る美術の成立過程、20世紀美術の概略も少々解説します。『現代美術』と呼ばれる造形表現のイメージを掴み親しむためのアシスト。						
授業計画	第1回 9/24 自分史と美術 第2回 10/1 鳥の声 第3回 10/8 見ることと目の仕組み・名画 第4回 10/15 20世紀美術略説① 第5回 10/22 鳥の声を見る 第6回 10/29 ○△□ 第7回 11/12 20世紀美術略説② 第8回 11/19 水のカタチ 第9回 11/26 20世紀美術略説③ 第10回 12/3 嗜好と思考と志向 第11回 12/10 極少の美学 第12回 12/17 開放／閉鎖 第13回 1/14 作品とモノと表現とワタシ 第14回 1/21 鏡を見ながらもう一度「見る」を考える ＊授業回で内容が前後することあり						
成績評価方法	平常点による評価						
講義中に直接使用する教科書							
上記教科書以外の参考図書	ゴンブリッジ、E・H、2011、『美術の物語』（ポケット版）、PHAIDON、2,310円（税込）。暮沢剛己、2009、『現代美術のキーワード100』、ちくま新書、945円（税込）。山本浩貴、2019、『現代美術史 - 欧米日本トランスナショナル』、中公新書、1,056円（税込）。						
その他（HP等）							